

日本出版者協議会プレゼンツ／トークイベント

「ヘイト表現」と「表現の自由」を考える

【パネリスト】

木瀬貴吉(ころから代表)、平井康嗣(週刊金曜日編集長)、岩井信(弁護士)

青山賢治(日本出版者協議会出版の自由委員会委員長・大蔵出版代表)

【司会】

深田卓(インパクト出版会代表)

【日時】

7月23日(木) 19時～21時(開場18時30分)

【場所】

水道橋・会議室「内海」2階会場(地図は下記参照)

【参加費】

1,000円

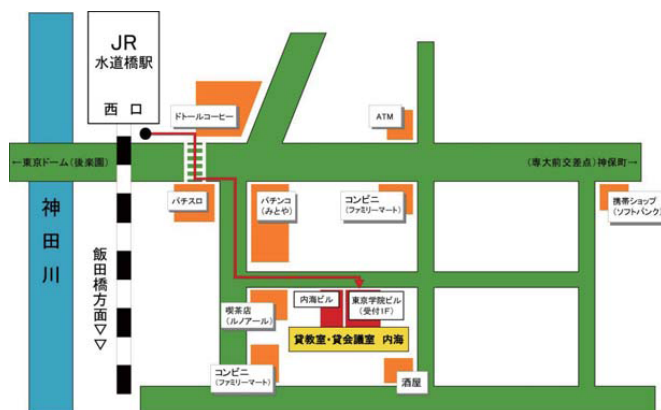
【主催】日本出版者協議会 【協賛】株式会社金曜日

「嫌韓本」や「嫌中本」、あるいは差別を助長するようなヘイト本が書店の平台を賑わすようになって久しい。なかにはベストセラーになった本も散見され、「神風の到来」とばかりに、ヘイト本の出版にいそしむ出版社も少なくない。

またそうしたヘイト本に追随するかたちで、日常社会(あるいはネット社会)における差別圧力も日増しに強くなってきており、嫌悪感を覚えるような差別用語を身の回りで耳にすることが多くなっている。

わたしたちは、そうした状況をどう考え、どのように向き合っていけばいいのだろうか。

今回のトークイベントでは、メディアの現場、司法の現場でこのような問題に取り組んでいる識者をパネリストに招き、様々な見解とこれからのビジョンを議論してみたい。



【申込方法】日本出版者協議会事務局に、FAX かメールにてご予約ください。

E-mail: 出版協 shuppankyo@neo.nifty.jp / FAX: 03-6279-7104 お問い合わせ TEL:03-6279-7103

参加者氏名(複数の場合代表者):

参加人数: 人

所属:

ご連絡先 Mail or TEL:

懇親会(21:30~/会費3000円程度): 参加する ・ 参加しない ・ 未定